

認知症地域支援推進員のコラム

日本人が介護を必要とする期間をご存知ですか？

日本では男性は約9年、女性は約12年と長い期間介護を必要とされることがわかっています。認知症で自分の身の回りのことが行えなくなった、病気により体が思うように動かなくなった、うつ病等により何に対してもやる気が起きないなど…さまざまなことが原因で自分らしい生活を送ることができない方が増えてきています。

いつまでも自宅で元気に過ごすには、日頃の生活習慣を見直したり、外出をして人と関わったりして、毎日の生活にメリハリをすることが大切です。扶桑町には地域の公民館で開催するサロンや、運動や認知症予防の自主グループ等もあります！お友達を誘って、是非参加してみてください。どんなことをやっているのかな？と気になった方や、自分の住んでいる地区にサロンはあるのかな？と思った方は、扶桑町役場（介護健康課）、もしくは地域包括支援センターまでお問い合わせください。



▼問い合わせ

- ・扶桑町地域包括支援センター（扶桑町総合福祉センター1F） ☎（91）1171
月～金曜日【12月30日（月）～1月3日（金）・祝日除く】午前8時30分～午後5時15分
- ・扶桑町役場 介護健康課 ☎（93）1111
月～金曜日【12月30日（月）～1月3日（金）・祝日除く】午前8時30分～午後5時15分

丹羽消防署

119番

年末の火災予防は万全にしましょう

12月に入り、今年も残りわずかとなりました。日に日に寒さが厳しくなるとともに空気が乾燥し、一段と火災が発生しやすくなっています。火の取扱いには十分に注意して、お出かけ前やお休み前には必ず火の元のチェックをしましょう。

暖房器具の取扱いに注意

冬の生活に暖房器具は欠かすことのできないものです。暖房器具による火災のほとんどは、取扱いや管理上の不注意によるものです。暖房器具からの火災を防ぐためには、取扱説明書などをよく読み、器具の正しい取扱いや管理をすることが大切です。また、暖房器具を使用する前には必ず点検をしてください。

- ストーブの付近に洗濯物を干したり、紙類や衣類などの燃えやすいものを置かない。
- ストーブの付近で殺虫剤やヘアスプレーなど引火の危険性があるものは使用しない。
- 石油ストーブなどに灯油を給油する場合は、必ず火を消してから行い、給油中はその場を絶対に離れない。
- カードリッジタンク式の石油ストーブなどは、給油後、タンクのふたを確実に閉め、漏れの無いことを確認する。



令和2年度

危険物安全週間推進標語の募集

毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。この行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

なお、最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用する予定です。令和2年度のポスターモデルは、今年6月にスウェーデンで開催された「ウィメンジョッキーズワールドカップ」において総合優勝に輝いた、藤田菜七子騎手を予定しています。

- ▼応募方法 郵便はがき又はWebによるものとします。
- ▼応募資格 どなたでも応募できます。
- ▼締切 12月10日（火）必着
- ▼賞 ◎最優秀作 1点
◎優秀作 1点
◎優良作 10点
- ▼あて先 〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館5階
（一財）全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会事務局
※詳しくは、（一財）全国危険物安全協会ホームページをご覧ください。
- ▼問い合わせ
丹羽広域事務組合 消防本部 予防課
☎（95）5158